

平成 29 年 2 月 19 日（日）施行

第 185 回 全経簿記能力検定試験 2 級 商業簿記 解説

第 1 問

1. 当座預金勘定・当座借越勘定は使えないので当座勘定で処理する。
2. 前期末に以下のとおり繰延計上している。

(借) 前払保険料	24,000	(貸) 保険料	24,000
-----------	--------	---------	--------

これを当期首に再振替。

3. 当期純利益なので、繰越利益剰余金（純資産）を増加させる。
4. 中間申告時の納付なので、仮払法人税等（資産）で処理する。
5. 旧手形貸付金を減少させて新手形貸付金を増加させる。
6. 商品保証引当金を取り崩す。
7. 1 株あたり ¥10,000 × 200 株 = ¥2,000,000 は資本金に計上しない（資本準備金）。
会社設立なので諸費用 ¥180,000 は創立費で処理する。

第 2 問

① 売上総利益

$$\text{純売上高} = \text{当期総売上高} - \text{当期売上返品高} = \text{¥}5,842,000 - \text{¥}31,000 = \text{¥}5,811,000$$

$$\text{純仕入高} = \text{当期総仕入高} - \text{当期仕入返品高} = \text{¥}4,663,000 - \text{¥}48,000 = \text{¥}4,615,000$$

仕 入		損益計算書	
期首商品	1,844,000	売上原価	
純仕入高	4,615,000	売上原価	純売上高
			5,811,000
	期末商品	原価以外の費用	売上以外の収益
	1,789,000	1,058,000	385,000
		当期純利益	

$$\text{売上原価} = \text{期首商品} + \text{純仕入高} - \text{期末商品}$$

$$= \text{¥}1,844,000 + \text{¥}4,615,000 - \text{¥}1,789,000 = \text{¥}4,670,000$$

$$\text{売上総利益} = \text{純売上高} - \text{売上原価} = \text{¥}5,811,000 - \text{¥}4,670,000 = \text{¥}1,141,000$$

② 当期純利益

$$\text{収益} - \text{費用} = (\text{¥}5,811,000 + \text{¥}385,000) - (\text{¥}4,670,000 + \text{¥}1,058,000) = \text{¥}468,000$$

③ 期末純資産(資本)

期首貸借対照表		期末貸借対照表	
現金・預金	754,000	現金・預金	X
売掛金	1,322,000	売掛金	1,299,000
商品	1,844,000	商品	1,789,000
	買掛金	買掛金	905,000
	1,075,000		期末純資産
	期首純資産		

$$\text{期首純資産} = \text{期首資産} - \text{期首負債}$$

$$= (\text{¥}754,000 + \text{¥}1,322,000 + \text{¥}1,844,000) - \text{¥}1,075,000 = \text{¥}2,845,000$$

ここで、

$$\text{期末純資産} = \text{期首純資産} + \text{資本追加元入高} - \text{資本引出高} + \text{当期純利益より}$$

$$= \text{¥}2,845,000 + \text{¥}123,000 - \text{¥}425,000 + \text{¥}468,000 = \text{¥}3,011,000$$

④期末現金・預金

期末貸借対照表の貸方合計は $\text{¥}905,000 + \text{¥}3,011,000 = \text{¥}3,916,000$

よって

期末資産 $X + \text{¥}1,299,000 + \text{¥}1,789,000 = \text{¥}828,000$

$X = \underline{\text{¥}828,000}$

第3問

帳簿には、①主要簿と②補助簿がある。①主要簿には、すべての取引が記入され、複式簿記のしくみの上では欠くことのできない帳簿で、これには、取引を発生順に記録する③仕訳帳と勘定口座別に集計する④総勘定元帳がある。②補助簿には、特定の取引や勘定の明細記録が行われ、特定取引の明細を発生順に記録する⑤補助記入帳と、特定の勘定の明細を口座別に記入する⑥補助元帳がある。

(a)

仕訳帳						
総勘定元帳						
仕入帳	仕	入	62,500	当座預金	20,000	当座預金出納帳
商品有高帳				受取手形	40,000	受取手形記入帳
				現金	2,500	現金出納帳

(b)

仕訳帳						
総勘定元帳						
売上帳	売	上	5,000	売掛金	5,000	得意先元帳

第4問

入金伝票

(借) 現金	100,000	(貸) 当座預金	100,000
(借) 現金	50,000	(貸) 売掛金	50,000
(借) 現金	8,000	(貸) 仮払金	8,000

出金伝票

(借) 買掛金	130,000	(貸) 現金	130,000
(借) 買掛金	120,000	(貸) 現金	120,000
(借) 仕入	3,000	(貸) 現金	3,000

振替伝票

(借) 売掛金	150,000	(貸) 売上	150,000
(借) 旅費	40,000	(貸) 仮払金	40,000

※ 仕訳集計表から総勘定元帳へ転記をし、**出金伝票**から仕入先元帳への記入を行う。

第5問

未達事項

1.	(借) 本	店	38,000	(貸) 売	掛	金	38,000
2.	(借) 買	掛	金	42,000	(貸) 支	店	42,000
3.	(借) 仕	入	75,000	(貸) 本	店		75,000
4.	(借) 現	金	40,000	(貸) 支	店		40,000

支 店		本 店	
※913,000	42,000	38,000	※794,000
	40,000		75,000
	831,000	831,000	

※残高試算表より

以上より、本店勘定・支店勘定の一致する金額は¥831,000

また本支店合併後の買掛金の残高は

¥828,000 (本店分) + ¥587,000 (支店分) - ¥42,000 (未達分) = ¥1,373,000

決算整理事項

1. 売上原価の算定

支店の期末商品棚卸高は未達分を加えて ¥715,000 + ¥75,000 = ¥790,000

期首商品棚卸高は残高試算表より

本店分 + 支店分 = ¥878,000 + ¥683,000 = ¥1,561,000

期末商品棚卸高は

本店分 + 支店分 = ¥886,000 + ¥790,000 = ¥1,676,000

(借) 仕	入	1,561,000	(貸) 繰	越	商	品	1,561,000	
	繰	越	商	品	1,676,000	仕	入	1,676,000

2. 貸倒引当金の計上

売掛金の残高は (¥965,000 + ¥723,000 - ¥38,000) であるから、

¥1,650,000 × 4% = ¥66,000

差額補充法で処理するので、貸倒引当金残高 (本店 ¥4,000 + 支店 ¥3,000) ¥7,000 を控除した金額 ¥59,000 を繰入れる。

(借) 貸倒引当金繰入	59,000	(貸) 貸倒引当金	59,000
-------------	--------	-----------	--------

3. 減価償却費の計算

(本店備品)

取得価額は ¥960,000、耐用年数 5 年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、

¥960,000 / 5 年 = ¥192,000

(借) 減 価 償 却 費	192,000	(貸) 備品減価償却累計額	192,000
---------------	---------	---------------	---------

(支店備品)

取得価額は ¥750,000、耐用年数 5 年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、

¥750,000 / 5 年 = ¥150,000

(借) 減 価 償 却 費	150,000	(貸) 備品減価償却累計額	150,000
---------------	---------	---------------	---------

4. 消耗品費の処理 (本店・支店合計)

(借) 消耗品	47,000	(貸) 消耗品費	47,000
---------	--------	----------	--------

消耗品費は $\yen 235,000 + \yen 113,000 - \yen 47,000 = \yen 301,000$

5. 家賃の繰延べ (本店・支店合計)

(借) 前払家賃	66,000	(貸) 支払家賃	66,000
----------	--------	----------	--------

支払家賃は $\yen 520,000 + \yen 338,000 - \yen 66,000 = \yen 792,000$

6. 支払利息の見越し (本店・支店合計)

(借) 支払利息	11,000	(貸) 未払利息	11,000
----------	--------	----------	--------

支払利息は $\yen 16,000 + \yen 6,000 + \yen 11,000 = \yen 33,000$

7. 手数料の繰延べ (本店・支店合計)

(借) 受取手数料	3,000	(貸) 前受手数料	3,000
-----------	-------	-----------	-------

受取手数料は $\yen 85,000 + \yen 34,000 - \yen 3,000 = \yen 116,000$